

「肺がん検診」を受けることで、 「結核」の早期発見が可能です!!

-65歳以上の市民(昭和31年3月31日以前に生まれた市民)は、
「肺がん検診」を無料で受けられます-

- ・結核は全国で年間約17,000人も新たな患者が発生し、約2,300人が亡くなっている感染症で、県内でも約150人の新たな患者が発生しています。
- ・県内で新たに感染した患者のうち約78%が60歳以上の方です。
- ・高齢者は特に咳などの症状がわかりにくく、結核に気づかずに病状が進行していることがあります。
- ・結核に感染しているかどうかは、市で行っている肺がん検診(40歳以上の市民が対象)で検査できます。

早期発見・早期診断が大切!!

★年に1回、肺がん検診(胸部レントゲン検査)を受けましょう。

- ・肺がん検診でわかる病気 → 肺がん、肺結核、心肥大など
- ・肺がん検診は、市の総合健診で受診できます。



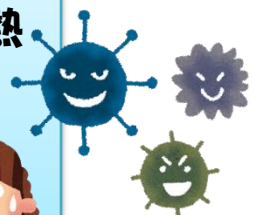
≪結核ってどんな病気?≫

- ・結核とは結核菌に感染することにより、主に肺に炎症が起こる病気です。
- ・結核菌の混ざったしぶきが、咳やくしゃみと一緒に空気中に飛び散り、それを周りの人が直接吸い込むことによって感染します。

【主な症状】

ひとつでも気になったら要注意!

- | | |
|---|-------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 咳(せき)(2週間以上続く) | <input type="checkbox"/> 37.5℃以上の発熱 |
| <input type="checkbox"/> 痰(たん) | <input type="checkbox"/> 体重が減る |
| <input type="checkbox"/> 胸が痛い | <input type="checkbox"/> 食欲がない |
| <input type="checkbox"/> 呼吸が浅い・苦しい | <input type="checkbox"/> 体がだるい |



★気になる症状が出たときは、検診を待たずに、早めに医療機関を受診しましょう。